

## 【数字を読み解く】

1万1592人～直近5年間の転出超過数 男性よりも女性の転出が多い～

<2021/12/3 大分合同新聞掲載>

数字は大分県が公表している「人口推計」にある、直近5年間（2016年10月～2021年9月）における転出超過数（当県からの転出者数－当県への転入者数）だ。

本統計は住民基本台帳法の規定に基づく住民票の記載または削除のあった人数を集計して、県全体の人口や転入者、転出者などを公表している。

直近5年間における大分県の人口移動をみると、1万1592人の転出超過となっている。男性（3839人）よりも女性（7467人）の転出が多いことが特徴だ（性別不明の人数を除く）。市町村別にみると、多くの市町村で転出超過となる中、大分市（転入超過数+990人）、中津市（同+449人）、豊後高田市（同+276人）、日出町（同+202人）では転入超過となっている。

子細にみると、大分市、中津市、日出町は、県内からの転入者が多い。一方で、豊後高田市は、県外からの転入者が多く、とりわけ、県外に住民票があった女性の転入超過数が+196人となっており、女性の転出超過数が大きい大分県にとって注目すべき動きである。豊後高田市が県外から人を呼び込めているのは、移住定住の支援事業に早くから注力してきたほか、支援策が「オールラインアップ」で用意されていることなどが背景にあると考えられる。

大分県では人口流出が続いているものの、その動きに歯止めをかけることができれば地域経済の活性化につながる。新型コロナウイルスを契機に人々の行動変容がみられる中、「人と知」が大分県に流入することで、県内経済にさらなる好循環が生まれることを期待したい。（日本銀行大分支店）